

令和5年第3回北海道議会定例会 一般質問 開催状況  
(経済部産業振興局次世代半導体戦略室)

開催年月日 令和5年9月27日  
質問者 共産党 真下 紀子 議員  
答弁者 経済部長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>四 次世代半導体施策の諸課題について</b> <b>(一) 設備投資と費用対効果について</b> (真下議員) 次に、次世代半導体施策の諸課題についてです。知事は、半導体産業の集積に向け、水の大量供給・大量排水を見込み、国に設備投資への支援を求めています。苦小牧工業用水道を選択する場合、過大な需要予測に基づく後世への借金となつてはなりません。設備投資と費用対効果、資金回収をどう見通すのか伺います。</p> <p><b>(二) ビジョンにおける水の供給、排水の考え方について</b> (真下議員) 半導体産業にとって大量の水資源利用にどう向き合うかが大きな課題となっています。世界的企業では消費以上の水源確保や、生産工程の水の循環利用等に取り組んでいると聞いております。水の使用量と排水量を減らし、水源供給にどう貢献するのか、目標設定と公表・検証が求められている時代の変化を見据え、水資源利用のあり方を半導体関連産業ビジョンにどう組み込むのか伺います。</p>	<p>(経済部長) はじめに、ラピダス社への水の供給についてであります。道では、2027年からの量産開始に向け、必要となる水の確保の可能性等について検討を進める上で、専門的な見地から幅広い意見を聴取するために設置いたしました有識者懇話会におきまして、評価方法等についてご意見を伺いながら、水源候補地を千歳川と苦小牧地区工業用水道の2案に絞り込んだところでございます。</p> <p>明日の第3回懇話会では、量産開始に必要な水量に見合った設備の規模など、経済性を含めた必要な事業費や環境影響といった評価項目について検討いたしまして、両案の総合的な評価を行っていただくこととしており、道といたしましては、有識者の皆様のご意見を踏まえながら、10月上旬には供給方法を固め、関係機関と必要な調整・検討を迅速に進めてまいります。</p> <p>(経済部長) 次に、水の供給・排水についてであります。ラピダス社では、半導体製造の水使用量の削減は、大変重要な課題であると認識し、製造工場で使用する水の再利用率を、最新の技術を導入していくことにより段階的に引き上げ、その使用量を大幅に削減していく計画であるものと承知しております。</p> <p>道といたしましても、半導体関連産業振興ビジョンの策定にあたりましては、こうした水資源の循環利用の考え方を含み環境負荷の低減に向けた方向性につきましても、国内外の例も参考に、有識者の方々のご意見を伺いながら、検討を進めてまいります。</p>